

平成30年度政務活動費収支報告書

会派名 市民クラブ

1 収 入 政務活動費 360,000円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	83,443	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成30年7月30日～8月1日</li> <li>30日：滑川市（議会改革）</li> <li>31日：射水市（地域公共交通）</li> <li>01日：氷見市（市街地ランドデザイン）</li> <li>費用：83,443円</li> </ul>
研 修 費	157,450	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成30年11月12日～13日</li> <li>12日：長野市（市町村議会議員研修会）</li> <li>13日：長野市（市町村議会議員研修会）</li> <li>費用：141,690円</li> <li>■ 平成30年11月20日</li> <li>20日：名古屋市（TRCセミナー）</li> <li>費用：15,760円</li> </ul>
広 報 費	-	
広 聴 費	-	
資料作成費	-	
資料購入費	-	
合 計	240,893	

3 残 額 119,107円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

2018年度市民クラブ視察

富山県滑川市・射水市・氷見市視察  
2018/7/30～8/1

日程	内容	費用	単価	数量	備考	交通費用		費用内訳	
						領収書	領収書No	市民クラブ	恵那市議
7/30	高速代	4,943	4,943	1	恵那⇒滑川 nexco 中日本	6,590	領収書②	4,943	1,647
7/30	宿泊代	19,500	6,500	3	スカイホテル滑川	—	領収書③	—	—
7/31	高速代	780	780	1	滑川⇒小杉 nexco 中日本	1,040	領収書④	780	260
7/31	宿泊代	22,200	7,400	3	ルートイングランディア氷見	—	領収書⑤	—	—
8/1	ガソリン代	1,919	1,919	1	(有)ミヤショウオイル	2,558	領収書⑥	1,919	639
8/1	レンタカー代	34,101	34,101	1	(株)トヨタレンタリース岐阜	45,468	領収書⑦	34,101	11,367
	合計	83,443	A			55,656		41,743	13,913

第45回市町村議会議員研修会in長野  
2018/11/12～13

日程	内容	費用	単価	人数	備考	領収書
11/12	電車代	9,060	3,020	3	JR 中津川⇒長野	領収書①
11/12	電車代	7,440	2,480	3	JR しなの	領収書①
11/12	研修会費	90,000	30,000	3	(株)自治体研究社	領収書②
11/12	宿泊代	18,690	6,230	3	ホテルサルート長野東口	領収書③
11/13	電車代	7,440	2,480	3	JR しなの	領収書①
11/13	電車代	9,060	3,020	3	JR 長野⇒中津川	領収書①
	合計	141,690	B			

TRCセミナー  
2018/11/20

日程	内容	費用	単価	人数	備考	領収書
11/20	電車代	2,640	1,320	2	JR 中津川⇒鶴舞	領収書①
11/20	地下鉄代	480	240	2	鶴舞⇒丸の内	領収書②
11/20	研修会費	10,000	5,000	2	図書館総合研究所	領収書③
11/20	電車代	2,640	1,320	2	JR 名古屋⇒中津川	領収書①
	合計	15,760	C			

政務活動費支出 240,893 T=A+B+C

政務活動費 360,000 D

収支 119,107 D-T



# 貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

貸渡人 株式会社トヨタレンタリース岐阜

中津川駅前店  
中津川市太田町2-3-5

RA610R  
発行年月日:平成 30年 8月 1日  
貸渡N○: 8641010

電話番号0573-62-0130

借名称 牛田 敬一様  
受住所 岐阜県中津川市桃山町2番43号  
人

項目	目	予定料金	精算料金
基本料金		50,760	50,760
カード割引額(0%)		0	0
その他割引額(20%)		10,152	10,152
	*	0	0
小計		40,608	40,608
免責補償料		3,240	3,240
特別装備料		0	0
添付品料金		1,620	1,620
ワンウェイ料金		0	0
燃料代		0	0
引取配車料		0	0
		0	0
ご利用額		45,468	45,468
リース無償代車			0
N O C			0
免責実費料			0
お支払額		45,468	45,468
内消費税		3,368	3,368
予約金		0	0
船乗車券		0	0
当日預り金		45,468	45,468
クレジット			
預り金合計		45,468	45,468
マイル・ポイント利用		0	0
ご請求金額		0	0

<お貸しする車両>

貸渡車両 ガソリンHV(1707-) 燃料 ガソリン  
登録N○岐阜 501わ4541

料金クラス W2-K 車両クラス W2-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	8月1日20時00分	8月1日19時46分	8,120
発	7月29日20時00分	7月29日20時00分	7,287
利用分	3日0時間00分	2日23時間46分	833

料金種別 一般料金 料金割引率 20%

添付品 安心Wプラン 1

乗車人数 4名  
返却営業店舗 中津川駅前 0573-62-0130 返却府県 県内

運転者氏名 牛田 敬一様

この請求金額内訳	

**TOYOTA Rent a Car**

トヨタレンタカー予約センター

**0800-7000-111** 無料

<http://rent.toyota.co.jp>

経費按分

$$45,468円 \times \frac{3}{4}名$$

$$= 34,101円$$

領 収 書		領収書N○ 0213354
市民クラブ	様	平成 30年 8月 1日
領収金額	45,468 円	収入印紙
(内消費税)	3,368 円	
トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。 ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。 (なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)		扱者印
営業店舗	中津川駅前	
住 所	中津川市太田町2-3-5	
電話番号	0573-62-0130	
株式会社トヨタレンタリース岐阜		
本社 岐阜県岐阜市金園町9丁目2番地		

②

④

ご利用ありがとうございます。 <b>利用証明書</b>		ご利用ありがとうございます。 <b>利用証明書</b>	
			
料金所(自)	恵那	料金所(自)	滑川
料金所(至)	滑川	料金所(至)	小杉
18年 7月30日 12時10分		18年 7月31日 8時56分	
割引前料金	¥6,930-	通行料金	¥1,040-
割引△	¥340-	(ETCクレジット)	
通行料金	¥6,590-	車種	1
(ETCクレジット)		取扱番号	A62807-303508-981233
車種	1	取扱番号	A62807-313508-982438
取扱番号	A62807-303508-981233	本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、 <a href="http://www.etc-meisai.jp/">http://www.etc-meisai.jp/</a> にアクセスして下さい。	

経費按分

② 6,590円 × 3/4% = 4,943円

④ 1,040円 × 3/4% = 780円

③

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

市民クラブ様

2018年 7月30日

金額 29,195.00

現金	
クレジット	○
振込	

但し、ご宿泊代金として  
上記の金額正に領収致しました

印  
紙

〈内訳〉  
 税抜金額 \_\_\_\_\_  
 消費税額(%) \_\_\_\_\_

スカイホテル滑川

〒936-0024 富山県滑川市辰野1375  
TEL 076-475-8833

取扱者 

⑤

ご 明 細 書  
STATEMENT

ルートインホテルズ 氷見 和蔵の宿

ROUTE INN HOTELS

毎々の格別のお引立てを賜り厚く御礼を申し上げます。  
またのご来店を心からお待ち申し上げております。  
Thank you for your staying with us. We are looking forward to serving you again.

富山県氷見市加納143-5  
TEL 0766-73-1771  
FAX 0766-73-1778  
URL http://www.route-inn.co.jp

お部屋番号 ROOM NO 806	お名前 NAME 市民クラブ 様	人数 PERSONS 1	PA
ご到着日 ARRIVAL 18/07/31	ご出発日 DEPARTURE 18/08/01	発行日時 DAY/TIME ISSUE 18/08/01 03:00	備考 REMARKS 1020 848 0/01 10

日付 DATE	お部屋番号 ROOM NO	摘要 EXPLANATION	料金 CHARGE	お支払 CREDIT	残高 BALANCE
07/31		クレジット コンフォートシングル ルーム	7,400	7,400	
	812	クレジット コンフォートシングル ルーム	7,400	7,400	
	715	クレジット コンフォートシングル ルーム	7,400	7,400	
	715	クレジット コンフォートシングル ルーム	7,400		0

お支払総額 TOTAL AMOUNT DUE	¥22,200	ご請求額 AMOUNT DUE	¥0
		ご返金額 REFUND	

ご署名  
SIGNATURE

領 収 書  
RECEIPT

日付 18/08/01

1020

お名前  
NAME 市民クラブ 様

金額  
AMOUNT DUE ¥22,200

ルートインホテルズ 氷見 和蔵の宿

ROUTE INN HOTELS

上記金額確かに領収致しました(消費税含む)  
We have receipt your payment.

富山県氷見市加納143-5  
TEL 0766-73-1771  
FAX 0766-73-1778  
URL http://www.route-inn.co.jp

⑥

# ENEOS

## 納品書(領収書)

2018年08月01日 19:27

元上 様  
 〒520285-4999-001  
 現金  
 中商番号 大車番 4541  
 品名 P-15  
 数量 150  
 単価 ¥166  
 合計 ¥2,558  
 消費税等(8.00%) ¥189

有限会社 ミヤコオイル  
 坂本SS  
 岐阜県中津川市茄子川198-1  
 TEL:0573-68-2441 SS-520285  
 FAX:0573-68-2442 No.7945-79  
 2018.08.01

### 経費按分

$$2,558 \text{ 円} \times \frac{3}{4} \text{ 名} = 1,919 \text{ 円}$$

①

駅-No 530503 領収書-No 4  
窓口-No 101  
領 収 書

市民クラブ 様

金額 ￥33,000円  
「消費税等込み」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

30年10月30日  
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

現金出納社員



お客様控

クレジットカードご利用票/CREDIT CARD SALES SLIP

R502

有XX-XX

会社名:会員番号

AMEX-XXXXXXXXXXXX2000

(JR東海)

取引内容:お買上

支払区分: - 括

MS

¥33,000

商品名: (一括発券)指定券

6枚(冊)

11月12日 しなの 5号 中津川→長野 乗車券込み 他

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

この控は大切に保存してください。

2018.10.30

30031-08

中津川駅MR発行

# 領収証

市民クラブ 様

¥90,000—

但、第45回市町村議会議員研修会 in 長野(2018年11月12日・13日)受講料として 上記正に領収いたしました。  
(受講者様ご氏名：牛田 敬一 吉村 久資 榎松 直子 様)

②

2018年9月21日

株式会社自治体研究会

代表取締役 福島 謙

〒162-8512

東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階

電話番号 03-3235-5944

受付番号011



3

# 領収書 RECEIPT

ホテルサンルート長野東口  
HOTEL SUNROUTE NAGANO-HIGASHIGUCHI  
TEL 026-264-7700 FAX 026-264-6611  
https://www.sunroutenaganohighashiguchi.jp/  
株式会社相鉄ホテルマネジメント

お部屋番号 名前  
ROOM No. NAME  
1513 Mr. 市民クラブ様  
Ms.

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2018/11/12	2018/11/13	3	2018/11/12	

日付 DATE	お部屋 ROOM	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	残高 BALANCE
11/12	1408	御宿泊代	6,230x 1	6,230	
	1507	御宿泊代	6,230x 1	6,230	
	1513	御宿泊代	6,230x 1	6,230	
	1513	クレジット		18,690	

総合計 TOTAL	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
	18,690	18,690	0	0

なお、お勘定には消費税が加算されております。  
Tax are added to your bill.

ご署名  
SIGNATURE

T 046806901 +++  
711 000000000

ご住所  
ADDRESS

会社名  
COMPANY

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
Thank you for patronage. We look forward to serving you again.

印紙税申告納  
付につき横浜中  
税務署承認済

①

### 領収書

ご利用日付 2018年11月20日  
時刻 10時14分

取引内容: 乗車券 金 2640円  
伝票番号: 08458

- この領収書は大切に保管してください。
- 毎度ありがとうございます。

中津川駅 券101発行  
JR東海

①

### 領収書

ご利用日付 2018年11月20日  
時刻 10時19分

取引内容: 乗車券 金 2640円  
伝票番号: 09058

- この領収書は大切に保管してください。
- 毎度ありがとうございます。

中津川駅 券102発行  
JR東海

②

## 領収書

市民777" 様

¥ 480

ただし

- 普通券 (大人) 2 枚
- 普通券 (小児) 枚
- チャージ代金として
- チャージ現金(SF)より引去り
- (バス・地下鉄・共通)一日乗車券 (大人) 枚
- (バス・地下鉄・共通)一日乗車券 (小児) 枚
- ドニチエコきっぷ (大人) 枚
- ドニチエコきっぷ (小児) 枚
- 定期券 件

上記の金額を領収しました。

平成 30年 11月 20日

名古屋市交通局鶴舞線駅務区上前津管区

鶴舞駅

③

No.1811-402

## 領収書

市民クラブ 様

金 5,000 円 (消費税込み)

但し、セミナー参加費として  
("その時" 地域防災計画は機能するか)  
平成 30 年 11 月 20 日開催)

平成 30 年 11 月 20 日

株式会社図書館総合研究所  
東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号  
代表取締役社長 小澤 嘉謹

③

No.1811-403

## 領収書

市民クラブ 様

金 5,000 円 (消費税込み)

但し、セミナー参加費として  
〔“その時” 地域防災計画は機能するか〕  
平成 30 年 11 月 20 日開催)

平成 30 年 11 月 20 日

株式会社 区書類総研研究所

東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号

代表取締役社長 小澤 嘉謹

# 会 派 視 察 研 修 報 告 書

(市民クラブ)

当日報告者 牛田 敬一

視察研修項目	常任委員会からの政策提案について
視察研修期日	平成 30 年 7 月 30 日 (月)
視察研修先	富山県滑川市議会事務局 (議会運営委員長)
視察研修参加者	吉村久資・櫛松直子・牛田敬一・佐々木 透 (恵那市議会議員)
視察研修目的	行財政改革を提言する手法として、常任委員会の機能強化が重要と考えており、常任委員会からの政策提案を行っている滑川市議会の取組みを調査し当市の活動に役立てる。
視察研修内容	<p><b>議会改革の取組み</b> 平成 18 年より一般質問における一問一答方式を採用 平成 28 年に議会基本条例を制定</p> <p><b>政策提案導入の経緯</b> 行政視察を行い、各常任委員長が報告書作成するのみで執行部側への提言がされていなかったため、委員会として提案する仕組みを立上げた。 議会提案を目に見える形で政策に反映されていなかった。</p> <p><b>提案の仕組み</b> 行政視察を政策立案する源とした。特別委員会にも波及していった。</p> <p><b>政策提案導入後の効果</b> 議会から執行部への提案の重みが増した。</p> <p><b>課題と今後について</b> 内容に予算も提案して行く必要がある。 提案に対する市民の意見を取り入れていく必要がある。</p>
視察研修の まとめ・所見	<p><b>まとめ</b> 中津川市と同じく議会改革基本条例を制定する以前で各種の改善を行っていた中に委員会からの政策提案を取り入れた経緯があった。常に見える化を意識して議会改革に取り組んでいた。</p> <p><b>所見</b> 当市においても、行政視察や所管事務調査を実施し、課題や要望を提言しているが説得力に欠けるため、滑川市のように提案する仕組み作りが最優先と感じた。</p>
その他	<p>①傍聴者用に各定例会のしおり(議案・補正予算・議場説明員配置図等)を配布し市民に開かれた議会を実現。</p> <p>②議会だよりの各議員のページには、QR コードが印刷され、そこから議員の動画が観れるように工夫してある。</p> <p>③土曜議会を開催。</p> <p>④一般質問通告締切より中 2 日で一般質問を実施。</p> <p>⑤一般質問は、議長を除く議員が行っている。質問時間は、30 分(固定) 改めて日頃より、市民に理解してもらう活動が必要と痛感した。</p> <p>※添付資料&amp;写真 有</p>



**常任委員会の活性化策**

● 委員会が本格的に定例会における議案の審議の機会を確保  
 ● 協議会が出席の可否し人員が異なるとして、協議の場を確保  
 ● 議会の提案が、議に採択された後で議決が内閣に送られる  
 ● 議決の採決について、議決の採決が行われている

● 議決に採択された議案の採決（採決）が議決 → 議決の採決  
 ● 議決に採択された議案の採決（採決）が議決 → 議決の採決  
 ● 議決に採択された議案の採決（採決）が議決 → 議決の採決

● 議決に採択された議案の採決（採決）が議決 → 議決の採決  
 ● 議決に採択された議案の採決（採決）が議決 → 議決の採決  
 ● 議決に採択された議案の採決（採決）が議決 → 議決の採決

**政策提案作成フロー（案）**

1月～4月  
 ● 提案を行う意思の決定  
 ● 協議会を参照し、提案を行う議案について取り込みを行う  
 ● 議決とす→ 議決を参照している自治体本部職員として決定する

5月  
 ● 行政機関の立案  
 ● 議案に基づき内閣で行政機関を立案する  
 ● 参加した委員は報告書を作成し、委員会に提出する

6月～10月  
 ● 提案の策定  
 ● 協議会を参照し、各委員が作成した報告書を基に、提案を作成する  
 ● 協議会からの説明、専門家による助言、市長との意見交換

● 提案の提出  
 ● 定例会でも議員に提案の内容を説明し、了解を得る  
 ● 提案を当局に提出し、時間を切って、回答を求める

● 当局からの回答、進捗の確認  
 ● 審判手続の未定議決説明に合わせて、提案に対する対応を確認する  
 ● 以前に提案した内容について、進捗状況を確認する

**議会見学のしおり**  
 平成30年6月定例会

議会

# 会 派 視 察 研 修 報 告 書

(市民クラブ)  
当日報告者 牛田 敬一

視察研修項目	地域公共交通について
視察研修期日	平成30年7月31日(火)
視察研修先	富山県射水市 市民生活部生活安全課
視察研修参加者	吉村 久資、櫛松 直子、牛田 敬一、佐々木 透(恵那市議会議員)
視察研修目的	コミュニティバス等については、利用者のニーズや地域からの要望に対し、対応を行っている。地域公共交通は地域により課題が異なる中、創意工夫を図っている自治体の取組み事例を調査し、当市の地域公共交通の活動に役立てる。
視察研修内容	<p><b>射水市の特色</b> 新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村の1市3町1村の半径7kmのコンパクトな都市。港湾、鉄道、高速道路など社会基盤が整備されており、人口が増加傾向にある。参考までに、高齢化率は29.5%である。</p> <p><b>射水市の公共交通の考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通空白地域の解消(くまなく路線を配置)</li> <li>・移動制約者(高齢者、学生等)の移手段の確保</li> <li>・既存の各市街地を結び市民の行動範囲を拡げることによる中心市街地を活性化</li> </ul> <p><b>射水市における公共交通の現状</b></p> <p>『コミュニティバス』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併前の1市1町に地域公共交通があり、その結節と旧3町村に事業拡大を行い、平成19年度に本格運行を開始。</li> <li>・現在は、19路線で運行。バス停は、約370ヶ所。</li> <li>・運賃は1人1回200円。1日乗車券300円。但し、同伴未就学児、高齢者運転免許自主返納者(5年間)は無料。</li> <li>・運行事業者は3社で随意契約(3年間)</li> <li>・運営状況 平成29年度：264,320千円 利用者数:402,245人</li> <li>・利便性の向上の取組みとして、バスロケーションシステムの導入や路線やダイヤの見直し(毎年)と通勤通学時の快速便の運行。</li> </ul> <p>『デマンドタクシー』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの利用者数が少ない路線(4路線)に導入。</li> <li>・運行方式：ドア・ツー・ドア、目的地限定方式、乗合、予約制。</li> <li>・車両：セダntaxi又はジャンボタクシー</li> <li>・運賃：大人1回300円。小学生、障がい者及び介護者は半額。但し、同伴未就学児、高齢者運転免許自主返納者(5年間)無料。</li> <li>・タクシー会社(運行エリア内にある1社)へ電話予約：乗車の前々日から</li> <li>・運行状況 平成29年度 20,345千円 利用者数:14,118人</li> </ul>
視察研修のまとめ・所見	<p>市全域を網羅する路線運行等、積極的に市の一体感の醸成に努めていることが窺える。コミュニティバスにおいては、要望に基づいて多くの地域をカバーした結果、迂回感の強い長大なルートになったり、デマンドタクシーにおいては、利用者からタクシーに近い運行を求められたり導入基準の検討等々の課題もあるが、運行見直しや小型車両の推進、更なる利便性向上の追及を行っている。</p> <p>中津川市と地形や面積等が異なるため射水市の様な路線は不可能だが、市街地の活性化や市民の一体感を公共交通で地域間移動を容易にするという役割感を持って行政が取り組んでいると感じた。</p>
その他	添付資料&写真 有



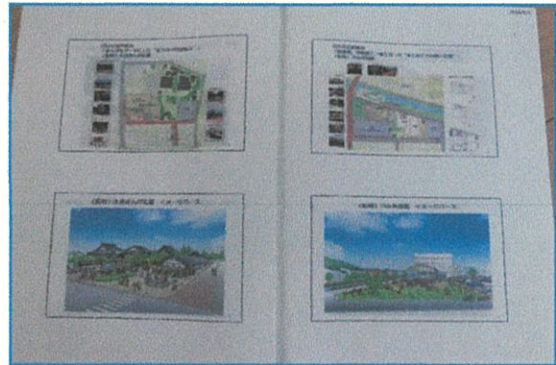


# 会 派 視 察 研 修 報 告 書

(市民クラブ)

当日報告者 牛田 敬一

視察研修項目	市街地グランドデザインについて
視察研修期日	平成30年8月1日(水)
視察研修先	富山県氷見市建設部都市計画課
視察研修参加者	吉村久資・櫛松直子・牛田敬一・佐々木 透(恵那市議会議員)
視察研修目的	中心市街地は地域により課題が異なるが創意工夫を図っている自治体の取り組み事例を調査し、当市の中心市街地活性化計画の活動に役立てる。
視察研修内容	<p><b>市街地グランドデザイン策定の経緯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所、市民病院の移転、市民会館の移転などによりまちなかに公共空地が点在、併せて市街地の空洞化が進んできた。</li> <li>これらの課題解決のため、氷見駅周辺、ひみ番屋街(道の駅:富山県で2番目に観光客の訪問が多い)、市役所周辺を含む範囲をグランドデザイン対象範囲と定め、4つの公共空地の利活用方針を示すことを目的に策定。</li> </ul> <p><b>市街地グランドデザインの組織・取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者、市内関係団体、公募委員などから30名の検討委員会を立ち上げ、4回の検討委員会を開催。商店街連盟や地元2ヶ所と意見交換会を開催。市民との意見交換会やパブリックコメントも募集した。</li> </ul> <p><b>市街地グランドデザイン策定後のあるべき姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地全体の将来的なビジョンを策定。</li> <li>&lt;氷見の人々の暮らしを豊かにする&gt;&lt;氷見を訪れる人々を温かく迎える&gt;をテーマとし、住んでいる人訪れる人双方によりよいまちづくりを進めることとした。</li> <li>4つの公共空地(旧市民病院、旧市役所、市民会館敷地、旧朝日丘小学校跡地)の活用計画を策定。</li> <li>その他関連施設として氷見駅や比美乃江公園、漁業文化交流センター(外国人も漁業研修ができる施設)なども活用して、市街地全体の動線を戦略的に検討する</li> </ul> <p><b>今後の課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①進捗管理:ひみまちなかグランドデザイン連絡調整会議を中心に行う</li> <li>②財源確保:都市再生整備計画、過疎債、一般財源など</li> <li>③効果測定:まちなかに人を呼びこめるか</li> <li>④ソフト施策の充実</li> </ol>
視察研修の まとめ・所見	<p>氷見市では、まち全体のデザインではなく、公共空地(4ヶ所)に特化した取組みであった。</p> <p>中心市街地活性化という取組みの最終目的は、自治体毎に違うが多額の費用を投資して取り込むものなのか、再考する必要があると感じた。</p>
その他	<p>氷見市役所は統合により廃校となった高校の体育館をリノベーションした庁舎で、新築と比較すると三分の一以下に費用を抑えることができたとして、全国から多くの見学者がある。</p> <p>添付資料&amp;写真 有</p>



# 会派視察研修報告書

(市民クラブ)

当日報告者 榎松 直子

視察研修項目	第45回 市町村議会議員研修会
視察研修期日	平成30年11月12日(月) 13:00~16:00
視察研修先	自治体研究社 会場: J A長野ビル
視察研修参加者	市民クラブ: 吉村久資・榎松直子・牛田敬一
視察研修目的	自治体における少子化対策・議会改革・防災/減災の取組みを調査し当市の活動に役立てる。
視察研修内容	<p><b>少子化対策</b>  「自治体はどのような少子化対策を進めるべきか」  講師: 中山徹(自治体問題研究所副理事長)</p> <p>*少子化をめぐる環境  ・人口減少→インフラ整備など全てに大きな影響を与える事項である。  ・地方創生で人口減少対策を打ってきたが、大きな変化は見られない。</p> <p>*子ども子育て新支援制度の概要  ・介護保険の形を参考にして子どもの認定区分が3つにまとめられた。  ・給付の一元化=施設への補助金制度から親に対して保育料の一部を自治体が補填する方式とした。(実際は親個人ではなく施設へ直接給付)  ・制度が変わってから保育園、幼稚園は減少し認定子ども園が増加  公立が減少、私立は増加、地域型保育事業は法人が運営</p> <p>*新制度の評価  ・規制緩和で保育士の資格が無くても、研修受講で関わる事が可能となった。  ・保育園は待機児童が増加したため、現在は子ども園への移行が少ない。</p> <p>*子育ての無償化の課題  ・年齢や施設によって無償化となる部分は異なる。  ・無償化で認可外保育所が固定化するのではないか</p> <p>*公立幼稚園の課題、  ・4歳からしか受け入れが無い。  ・無償化になると3歳児を受け入れている私立へ子どもが流れる。</p> <p>*公立保育園の今後  ・私立並みに3歳児受け入れや延長保育や休日預かりを充実させないと公立幼稚園の利用が急激に減少することが考えられる。至急対策が必要。  →公立の保育園、幼稚園を認定こども園にする事が保護者にもメリットがあり、自治体の経営面からも望ましい。  →市町村の財源  市町村が子育て支援に独自に財源を負担している部分が無償化で不要となった部分をどの様に利用するか検討が必要。</p>
視察研修の まとめ・所見	<p>まとめ: 平成27年4月から導入された子ども・子育て新支援制度は少子化対策の大きな柱として導入されたが課題も出現しており、幼児教育の無償化が今後市町村に与える影響を注視していく必要がある。</p> <p>所見: 幼児教育の無償化で、私立の利用が増加する、あるいは公立のサービス強化が求められることが考えられ、対応を検討する必要がある(延長保育や受け入れ年齢の拡大など)</p>



# 会 派 視 察 研 修 報 告 書

(市民クラブ)

当日報告者 牛田 敬一

視察研修項目	市町村議会 議員研修会
視察研修期日	平成 30 年 11 月 12 日 (月) 16:20~18:00
視察研修先	自治体研究社 会場：J A長野ビル
視察研修参加者	吉村久資・櫛松直子・牛田敬一
視察研修目的	自治体における少子化対策・議会改革・防災/減災の取組みを調査し当市の活動に役立てる。
視察研修内容	<p><b>議会改革 住民自治の根幹としての議会力・議員力の発揮へ</b>          講師：寺島 渉 (テラシマ ワタル) 元長野県飯綱町議会議長  <b>【飯綱町議会の取組経過等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併直後に旧牟礼村の第三セクター「飯綱リゾート開発㈱」の経営破綻。損失補償契約締結金融機関が町を告訴し全面敗訴。              議会のチェック機能、議決責任と説明責任→75%の住民から厳しい評価</li> <li>・ 半年間で 30 数回の学習会と自由討議。              町民が求める議会像と信頼される議会を目指し 8 項目の議会改革宣言</li> <li>・ 二元代表制の一翼を担っていない→形式的なものから実体的機能化へ。</li> <li>・ 議員の力量向上と町長への積極的提言。</li> <li>・ 政策サポーター制度の新設と実践。              議会によるテーマ決定⇒議会報による住民周知と公募⇒政策提言作りの議論 (座長は常任委員長) ⇒議員は予算審議と一般質問⇒提言 (→条例化)</li> <li>・ 議会の見える化=開かれた議会、議会への住民参加を広げる。              模擬議会・休日・夜間議会の開催。              「議会だより」モニター制の導入=多様な意見の把握&amp;議会の応援団              「飯綱町議会白書」の発行 (議員個々の自己評価を記載)</li> <li>・ 議員報酬、定数問題への取り組み。              特別委員会の設置⇒議論と結論⇒「町民への訴え」⇒議員が地域に入り説明と意見交換会⇒条例化</li> <li>・ 「学ぶ議会」の定着と「学ぶ活動」              町民・行政・議会の 3 団体協働のシンポジウムの開催。              「町民講座」を毎年開催。</li> </ul>
視察研修の まとめ・所見	<p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会改革は議員の意識改革。</li> <li>・ 一過性や単発的取り組みでは不十分=持続的な改革実践と活動の定着。</li> <li>・ 議会の第 3 の機能である政策立案と提案機能=議会力の強化。</li> <li>・ 首長と善政競争=議員力の発揮。</li> </ul> <p><b>所 見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中津川市議会においても更なる「見える化」を推進する必要性と議会チーム力の強化と中津川市議会基本条例をベース (見直しも含め) とした持続的な改革実践の遂行を図ることが重要と考えます。</li> </ul>
その他	



# 会 派 視 察 研 修 報 告 書

(市民クラブ)

当日報告者 牛田 敬一

視察研修項目	第 45 回 市町村議会議員研修会
視察研修期日	平成 30 年 11 月 13 日 (火) 9:30~12:00
視察研修先	自治体研究社 会場：J A長野ビル
視察研修参加者	吉村久資・櫛松直子・牛田敬一
視察研修目的	自治体における少子化対策・議会改革・防災/減災の取組みを調査し当市の活動に役立てる。
視察研修内容	<p><b>防災・減災：災害への備えに何が必要か</b></p> <p>災害大国の認識          国土面積は、世界の 0.25%にすぎないが、M6 以上の地震の割合が 2 割と高い。約 2000 の活断層が存在し内陸地震の危険性も高い。</p> <p>防災と減災          防災から減災と用語が変化してきている。</p> <p>関連死の多発          災害後の関連死・孤独死・自殺が増加傾向にある。</p> <p>避難所の現状          体育館等での雑魚寝状況は、実に 80 年以上も変わらない状態となっている。→避難所の国際的な環境基準の検討</p> <p>在宅被災者          災害で命は助かったが、住宅が大きく破壊され、わずかに残った部屋で暮らす人々。→行政からは被災者と認定されない。</p> <p>今後の備え          避難所（トイレ・台所・簡易ベッド）の改善と住宅復興システムの改善が重要。</p>
視察研修の まとめ・所見	<p><b>まとめ</b></p> <p>自然災害の発生を食い止めることができないため、被害を最小限に食い止める施策が重要となってきた。</p> <p>仮に災害にあった場合は、避難所生活となるが関連死が注目されるように避難所や仮設住宅を国際基準を参考にしながら、事前に対応できる体制作り（知識の習得等）が重要。</p> <p><b>所見</b></p> <p>被害者にならないための意識改革が重要。まず、家庭内での家具の固定や家具が倒れてきても被害にあわないレイアウトの見直しが不可欠。各地区の防災士等を中心とした地域の組織力の向上に努めていきたい。</p>
その他	





# 会 派 視 察 研 修 報 告 書

(市民クラブ)

当日報告者 牛田 敬一

視察研修項目	“その時” 地域防災計画は機能するか
視察研修期日	平成 30 年 11 月 20 日 (火) 13:30~16:40
視察研修先	図書館流通センター中部支社 2 階 研修室
視察研修参加者	吉村久資・牛田敬一
視察研修目的	地域防災計画等の課題を整理しながら、これからの防災・危機管理をめぐる政策議論において求められる視点を調査し当市の活動に役立てる。
視察研修内容	<p>“その時” 地域防災計画は機能するか</p> <p>講師：関西大学 社会安全学部 永松伸吾氏</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時の困難は、一人ひとり異なる 大阪北部地震で関西大学の学生が出来ることとして携帯の充電供給を開始 SNS の拡散で多くの方が助かったというツイートが来た。また、聴覚障害者がいる母親は、line でしか伝えられないため、本当に助かったとメールが寄せられた。</li> <li>2. 災害は進化する 9月6日の胆振東部地震による大規模停電では、電子決済システムの広域停止により、電子決済を多用する若者にその影響が大きかった。</li> <li>3. 災害リスク 災害リスク=今まで出来ていた事が出来なくなる事→被害 災害によって出来なくなった事をいかに早く立ち上げられるかが課題。 それには、対応力と回復力が重要</li> <li>4. 脆弱性の増大:インフラの老朽化</li> <li>5. 被災者の個人化 被災の姿もニーズも多様</li> <li>6. これからどう備えるか 地区防災計画 地区居住者等を主体としたボトムアップ型の計画 地区居住者が地区の特性に応じた計画を作成 計画を作成するだけでなく、防災活動が実践され、評価見直しを継続的に実施</li> </ol>
視察研修の まとめ・所見	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害は社会と共に進化する</li> <li>・ハードで防げるのは一定程度のハザードのみ</li> <li>・ハード投資だけでなく人への投資が重要</li> <li>・災害リスクを正しく認識出来る人が増えることで社会は大きく変わる</li> <li>・行政に頼ることなく、自らが自らの命を守るために、それぞれの地域で必要なことを考え、実践できる人材が必要</li> </ul> <p>所見</p> <p>自然災害が各地で発生していても、自分の所は大丈夫といった正常性バイアスが働き、防災・減災活動の意識が上がらない。今後も自助や互助でできる減災活動に注力する必要を改めて認識した。</p>

